

事業説明シート 1 市立病院の経営健全化(継続)

部局課所 市立病院総務課
 総合計画 3章7節2項
 重点テーマ 少子長寿社会への対応

【 事業の目的】 地域の中核的市民病院として、市民の福祉の増進を目的とし、安全で良質な医療を提供するとともに、健全な病院経営を目指す。	【 事業の対象】 市民を対象
【 全体事業概要】 ・病床利用率の向上を図る。 ・透析部門の増床を図る。 ・医療機器の整備を図る。 ・結核病床の減床を含め、病院全体の病床数を見直す。	【 国県施策名】 【 国補助率】 【 県補助率】 【 起債充当率】

【 期間別事業概要】

前期:H15～H17 ・病院全体の病床数と科別の病床配分数を見直す ・結核病床を減床して、一般病床に転化させる ・病診連携を積極的に進める ・医療機能評価を受審する	後期:H18～H22 ・病診連携を積極的に進める ・計画的な医療機器の整備を図る
--	--

事業評価シート 1 市立病院の経営健全化(継続)

【 事業成果(アウトカム)指標】

指標	病院単年度収支を黒字とする				
選定理由	病院経営の年度ごとの収支状況を表している				
計算・推計方法	病院事業損益計算により				
留意事項	(単位:千円)				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標	-41,703	-29,134	-61,513	黒字化	黒字化
実績	332,041	98,668			
事業成果指標・備考					

【 制度・事業の見直し(廃止)】

○ 無 ● 有	結核病床の減床をはかる
---------	-------------

【 民間事業との競合、事業外部の条件整備、他部局との連携】

● 問題無 ○ 要配慮	民間病院との競合あり
-------------	------------

【 住民ニーズ、行政需要の動向】

○ 増加傾向 ● 不変 ○ 減少傾向	(過去3年の延患者数) 平成12年度 入院～158,084人,外来～400,391人 平成13年度 入院～161,218人,外来～397,704人 平成14年度 入院～158,236人,外来～380,758人
--------------------	---

【 市民共生、男女共生の視点】

○ 反映済 ○ 反映余地有 ● 関連せず	
----------------------	--

【 市町合併との関連】

● 関連無 ○ 関連有	
-------------	--

【 市が今行う必要性】

無 有

地方公営企業法第三条による経営の基本原則

17病院 1

事業説明シート 2 市立病院高度医療整備事業(継続)

部局課所 市立病院総務課
 総合計画 3章7節1項
 重点テーマ 少子長寿社会への対応

<p>【 事業の目的】</p> <p>医療技術が急速に進歩するとともに、高度医療に対する市民ニーズも増してきている。 市内の中核的病院として、安全で良質な医療を提供するため、医療機器と検査機器の整備を年次計画を立てて進める。 本事業の実施により、市民ニーズに応えるとともに、経営の安定化を図る。</p>	<p>【 事業の対象】</p> <p>市民を対象とする。</p>
<p>【 全体事業概要】</p> <p>・リニアック(放射線治療機器)、MRI(核磁気共鳴画像装置)、アンギオ(循環器X線撮影装置)、CT(全身用コンピュータ断層撮影装置)、を順次更新して、高度医療体制の基盤整備を進める。</p>	<p>【 国県施策名】</p> <p>【 国補助率】</p> <p>【 県補助率】</p> <p>【 起債充当率】 100%</p>

【 期間別事業概要】

<p>前期:H15～H17</p> <p>・リニアック、MRI、アンギオの更新を図る</p>	<p>後期:H18～H22</p> <p>・CTの更新を図る</p>
--	------------------------------------

事業評価シート 2 市立病院高度医療整備事業(継続)

【 事業成果(アウトカム)指標】

指標	リニアック:放射線治療がん患者の診療収入 検査機器(MRI):検査収入				
選定理由	医療機器による収入を表している				
計算・推計方法	稼働額データより				
留意事項	診療報酬改定の影響を受ける				
指標の推移	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
目標			39,863,000	112,294,000	112,294,000
実績					
事業成果指標・備考	H15年度:リニアック 65,134×3/12月=16,283千円 MRI 3,930×6ヶ月=23,580千円				

【 制度・事業の見直し(廃止)】

● 無 ○ 有	
---------	--

【 民間事業との競合、事業外部の条件整備、他部局との連携】

● 問題無 ○ 要配慮	市内にある大学病院をはじめ、秋田赤十字、中通、秋田組合が競合相手となる。
-------------	--------------------------------------

【 住民ニーズ、行政需要の動向】

● 増加傾向 ○ 不変 ○ 減少傾向	放射線治療等の高度医療への需要は高まっている
--------------------	------------------------

【 市民共生、男女共生の視点】

○ 反映済 ○ 反映余地有 ● 関連せず	
----------------------	--

【 市町合併との関連】

● 関連無 ○ 関連有	
-------------	--

【 市が今行う必要性】

○ 無 ● 有	高度医療や成人病対策としても、高度医療機器の整備は不可欠であり、市民の医療ニーズに応える必要がある。
---------	--

